

## 例会予定

- 1月5日(火)・・・「年男は語る」
- 1月12日(火)・・・職場訪問例会  
於：学校法人エンゼル学園
- 1月19日(火)・・・中間クラブ協議会
- 1月26日(火)・・・中間クラブ協議会

2015～2016年度国際ロータリーのテーマ



世界へのプレゼントになろう

## 世界へのプレゼントに なろう

2015～2016年度  
国際ロータリー会長  
KR “ラビ” ラビンドラ

## 巻頭メッセージ

S.A.A.

S.A.A. 泉川孝三

2番テーブルに座り、やっと2年半が経過しました。その間副会長、会長を経験し、今はS.A.A.の立場で座っています。今の時期は、次年度の会長、幹事及び次年度の理事が決まりロータリー組織として本年度の事業の実行、及び次年度事業の計画立上げに更に充実した活動をおこなっているときだと思えます。皆様と同じ席に座りお話をする機会はもう少し先になりますが、残り半年、2番テーブルにて有意義な時間を過ごしていきたいと思えます。

私が会長の時は、会長挨拶が非常に短く、ただ趣味の温泉の話をしただけで内容の充実した挨拶が出来なかったような気がします。その点、河内会長は会長挨拶原稿を作成し、ユーモアを交えて、その時のタイムリーな話も織り交ぜ、本当に楽しい会長挨拶をされています。

ロータリーにおけるS.A.A.は、クラブ例会その他の会合において、気品と風紀を守り、会合がその目的を発揮できるよう設営し、監督する責任がありますが、現在、例会も河内会長菅井幹事の進行でスムーズに運営され、S.A.A.の立場として今のところ出番はない状態です。

S.A.A.として、歴代のS.A.A.と同じように河内会長のロータリーをより元気・活気・気概あふれるクラブに発展させる方針に従い、残り半年出来る限り河内会長を支援していきたいと思えますので、いっそう充実した会になるよう会員各位のご協力ご支援を宜しくお願い申し上げます。

## 例会記録

### 第3279回例会 2015年12月1日(火)

一年次総会：次年度役員選出—

出席会員 74(65)名中54名 出席率77.14%

前回訂正出席率88.89%

欠席会員 20名 二神、五味、泉谷、市川、清田、三ッ矢、村上、村山、中川、西野、大塚、酒井、左納、高石、田中(昌)、鶴田(片井、亀井、関(宏)、玉置)

ビジター 2名 芝田 弘一(市川RC)  
武内 英治(伊予RC)

ニコニコ箱

河内 広志 本日は年次総会ですが、次々役員の皆様よろしくお願ひいたします。

米山 徹太 先週の火曜会お世話になりました。

西村 真也 先日の私共の演奏会にお越しいただき有難うございました。

田中 和彦 本日、弊社のFM局「川之江」「大洲」が開局いたしました。通称「Fなん」です。よろしくお願ひします。

兒玉 義史 野村社長様、先日は大変有難うございました。

永木 昭彦 久々の参加です。出席率低くすみません。

泉川 孝三 (会員誕生祝)

野村 靖記 (会員誕生祝)

佐々木 淳 (結婚記念祝)(創業記念祝)

白石 省三 (結婚記念祝)

結城 旬 (創業記念祝) 12/8

なんとなくニコニコ 林

早退 伊東、貴船、三原、関(啓)

### 第3280回例会 2015年12月8日(火)

出席会員 74(65)名中55名 出席率76.39%

前回訂正出席率86.30%

欠席会員 19名 藤村、二神、五味、市川、勝見、清田、兒玉、三ッ矢、三原、村上、森、中川、中地、大塚、田中(昌)、鶴田、浦岡(片井、亀井)

ニコニコ箱

村井 重美 卓話宜しくお願ひします。

河内 広志 村井さんのお茶の話、大変楽しみです。

浜田 修一 村井さん卓話楽しみにしています。

貴船 正憲 村井さん卓話楽しみにしています。Fightです。

大森 克介 村井さん、いつもおいしいお茶を入れようとしていないので、今日は勉強いたします。

齋藤 明弘 卓話ががんばって下さい。

米山 徹太 村井さん卓話楽しみにしています。

田中 和彦 大学の後輩の仮屋崎省吾さんの生花展が今日から松山城で始まります。いいお天気に恵まれましたので…

玉置 泰 欠席が続いて申し訳ありません。

早退 土居、原田、棟方、村山(野村委員長、先日は大変お世話になりました。貴社のスタッフの皆様にご支援頂きありがとうございます)、長尾(引き続きよろしくお願ひします。5回目の年末です)、西野、白石、関(啓)

卓話 「四国のお茶畑の案内と

美味しいお茶の淹れ方」

村井 重美 会員

先日は卓話の時間を頂き皆さんと一歩でも親しくなるチャンスが出来ましたことを御礼申しあげます。

それでは、今回の卓話の演題は「四国の茶畑の案内と美味しいお茶の淹れ方」と言うことで私の見た四国の茶畑の様子や生産量の案内と日本茶インストラクター協会の、日本茶の淹れ方についてのお話をさせて頂きます。私事ではございますが、お茶の新芽が群生する風景を見ると、とても心が和み何か安らぎを覚え、私の心を癒す、とても大事なイメージ画像です。

昔から、喉が渴けば水をのみ、心が乾けばお茶を飲むと言う用語があります。

長い人生には大変な心悩ます時もあるかと思いますが、その時は少し心を落ち着かす意味でお茶をお飲みいただければ幸いです。

今回の卓話の四国の茶畑は愛媛県内の案内になると思います。愛媛県の実産量は四国全部の15%、四国は全国の1.9%ととても生産量の少な

いところす。皆さんのご存じの通り愛媛県は柑橘大産地で農業の求めた道が違ふと思ひます。

そういった中の愛媛も東、中、南予の地域に別れて点在しており、中予は久万高原町の久万茶。久万面河、美川の山間部で栽培されたお茶が久万茶と呼ばれていますが、江戸時代は松山藩に保護、奨励され発展してきました。

お茶の特徴はやや深蒸しで加工され独特の風味が特徴です。宇和町、宇和茶は愛媛と高知の山間部での歴史は古く江戸時代に煎茶が庶民に飲まれるようになるもつと以前薬用として飲まれ加工されていきました。昭和になり国策としてサツマイモや麦といった作物への強制転作を迫られたせいで茶の栽培は衰退しました。

新宮茶は昭和26年に村おこしで始まったまだ歴史の浅いお茶です。四国の山間部は霧の発生が多く、お茶の栽培に適している反面茶畑の面積が限られていて一大産地とは成り得ない面があります。以上が愛媛県のお茶の情報です。又次回には四国の残り三県の御茶所のお話もさせて頂きます。

第3281回例会 2015年12月15日 (火)

出席会員 74 (65) 名中48名 出席率67.61%

前回訂正出席率75.00%

欠席会員 26名 藤村、二神、五味、星野、市川、伊東、上甲、菊池、貴船、河内、真鍋、三ツ矢、三原、村井、村上、中川、長尾、永木、大塚、酒井、佐々木、左納、清水 (片井、亀井、玉置)

ニコニコ箱

田中 和彦 本日、お耳汚しをいたします。ご容赦下さい。

羽牟 正一 田中さん卓話楽しみにしています。

西野 佳和 田中さん卓話楽しみにしています。

す。

三好 哲生 昨日、サマースクールのキーマンでいらっしやる伊藤先生と懇談致しました。永くつちかわれた先輩方の努力に感謝申し上げます。

なんとなくニコニコ 米山

早 退 林、棟方、関(啓)、高石

卓話 「V-Lowとは何？」

田中 和彦 会員

今日はラジオの「今、将来」についてお話をいたします。

現在、民間放送テレビ社は127社。ラジオ社

## 例会記録

が101。内訳はAM47社、FM53社、短波放送1社です。この中には当社のようにラジオ・テレビ両方を放送している、いわゆるラ・テ兼営社が33社含まれています。テレビ社の年間売上は約2兆円。ラジオは1,200億円程度ですから、大まかに20対1くらいの差があります。

兼営社の一番の悩みは「ラジオ問題」と言われています。ラジオはテレビに比べてCM単価が安い上、手間も人手もかかり、テレビに比べて経営効率が悪いという論点です。

しかし、私はそうは考えていません。そもそもラジオとテレビはメディア特性が違うと思うのです。例えば、テレビが自動車ならラジオは自転車。媒体力の優劣でそれを述べるのは違うのではないかと考えます。

10年ほど前に「テレビのデジタル化」によって、懐かしの（笑）アナログチャンネル1～12chのVHF帯域が空き地になりました。総務省はこの内、まず、需要の著しい携帯事業社に4～9chのスペースを渡しました。そして1～3ch、つまりV-Low帯域をラジオ事業社に、

V-High帯域（10～12ch）を新規事業に与えたのです。このうちV-high帯域はスマートフォンでの有料テレビ放送「NOTTV」が始まりました。

そして、今日のテーマのV-Low帯です。AMラジオ事業社はこの帯域で、今の放送をデジタル放送に変える道を志向しましたが、FMラジオグループは全く新しい「マルチメディア放送」を主張し、業界は一本化できませんでした。そこで、痛み分けでAMラジオは「FM補完局」として、わかり易く言えばFMへの転換ですが、色々あった末、災害対策・難聴対策として放送ネットワーク強靱化の括りで動き始めました。当社が昨年12月にFM補完放送をスタートさせたのはこのようなことからなのです。

我が社はラジオメディアの将来に希望と自信をもっています。

V-Low帯とは何か？

即ち、それは私どもの新しいチャレンジ・フィールドなのです。

---

### 第3282回例会 2015年12月22日（火）

---

ークリスマス忘年家族例会ー

於：(株)松山三越 8階サロンレストラン

出席会員 73 (64) 名中40名 出席率60.61%

前回訂正出席率72.86%

欠席会員 33名 藤村、浜田、原田、星野、市川、伊東、菊池、貴船、真鍋、三ッ矢、棟方、

村上、森、中川、大塚、小野、酒井、清水、佐藤、左納、菅井、関(啓)、高石、鶴田、安永、結城(深見、片井、飯尾、亀井、関(宏)、田代、玉置)

ご家族 25名



## 平成27年11月度理事会決議事項

12月1日(火)

- ①【報告事項】次年度7月の松山近隣8RC合同例会について松山RCがお世話クラブとなります。承認。

## クラブニュース

### 訃報



トヨタカローラ愛媛(株) 代表取締役社長 五味久枝会員が12月21日、享年66歳をもってご逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。ロータリー歴は12年4ヶ月でした。

### 12月のお祝い

- 誕生祝** 以下6名 亀井(12日)、二神(14日)、泉川(20日)、野村(23日)、福田(25日)、深見(28日)
- 結婚祝** 以下6名 森(3日)、白石(5日)、浦岡(9日)、清田(15日)、菊池(21日)、佐々木(22日)
- 創業祝** 以下7名 結城(8日)、羽牟(10日)、瀨本(20日)、星野(20日)、中地(25日)、佐々木(28日)、田代

### 配付物

1. ガバナー月信
1. 会報10月号

## 会員だより

### 「松山ロータリークラブ誕生」の苦しみ(3年間準備会のまま)

昭和8年、大阪ロータリークラブ会員の三村起一と村田省三の二人が、東京本部(日本は一つの地区であった)の指示を受けて、松山と今治へ、同時にクラブ結成を勧誘してきた。今治では、9年に倶楽部が結成され国際登録をした。

松山では、結成を約束したけれども、発会式を挙げるまでに意見がまとまらず、三年間準備会ということで、毎週水曜日に例会を開いた。国際本部や、東京本部からの文献、今治クラブからの会報なども報告し、卓話は「旅の土産話」などで、

欠席者も少なく和やかな会合であった。今治からは、当時会長であった阿部秀次郎その他が、毎回のように出席して、クラブ結成を勧奨したが、なかなか実を結ばなかった。

松山ロータリークラブ結成が、何故このように三年の歳月を要したかはそれなりの原因があった。それは、三村起一らが、先ず県庁を訪れ、当時の一戸知事にクラブ結成に協力を願い、誰を中心にやるべきかを相談した。一戸知事は、当時松山市における財政界の権威井上要を推薦すると同時に、

## クラブニュース

県からも、知事も参加し、内務部長・学務部長・警察部長を推薦した。また、裁判所々長・検事正・旧制高校々長も入会した。

このようなメンバー構成であったので、官僚的空氣が会を支配し、アメリカへの登録料を送金して国際団体に登録されるよりも、単なる社交団体で継続すべきであるという意見が多数を占めた。また、これらの役人は、転任がしばしばあって、地域社会に定着することがなく、何にも増して、ロータリー設立の精神にも副わないものであった。そうするうちに、東京本部も、今治クラブも痺れをきらし、松山はとうとう流産したというので、国際本部はもとより、東京本部からも、文献の送付もとどえてしまう始末であった。

このような状態の中で関定は、愛媛県においてこそ、ロータリー運動の必要性を痛感し、伊予鉄社長井上要、松山商工会議所会頭山本義晴等と相談し、その推進に挺身した。当時、東京本部の事務局局長であった宇和島市出身芝染太郎の助言を得て、東京からの帰途、岐阜のクラブを見学し、設立趣意書、予算書等を自費で印刷して、各方面に配布した。かくするうち、準備会当時、会の空氣を支配した役人もつぎつぎに転任し、漸く地域社会に定着したロータリー本然の姿に返ることができた。

アメリカ本部への加入金も納入し、役員選考も終わって、発会式を挙げたのが、昭和12(1937)年7月7日、その朝盧溝橋事件が勃発し、その号外がけたたましく街に配られ、物情騒然たる時勢であった。

### なぜ今治に四国で初めてのロータリークラブが誕生したのか？

#### 四国で今治が始めての事業

綿織物業 明治19年(1886年)  
タオル製造業 明治27年(1894年)

都市ガス供給業 明治45年(1912年)  
「松山 明治45年」  
「宇和島 昭和3年」  
開港場 大正11年(1922年)  
ロータリークラブ 昭和9年(1934年)

#### その理由

- 伊予の国府が今治に在った。
- 瀬戸内海は古来大切な交通路で長崎、堺、大阪と人や物の交流が盛んであった。

比較的開けた環境の下で、明治12年(1879年)四国で初めてのキリスト教会が出来た。当時キリスト教を受け入れたこと自体、画期的な事と言えるが、その後の今治にとって次の二点で大きく貢献した。

1. 協会がプロテスタント(新教)であって、経済活動に積極的であった
2. 初代伝道師に21歳の横井時雄(新島 襄の同志社神学部第1回卒業生)が着任した、彼の7年間の活躍と、声望により多くの著名人が今治に来て、見聞を広めてくれた。

徳富蘆花も明治18年から1年4ヶ月「今治英学校」で英語を教えた。

入信者は殆どが「町人衆」であった。

綿織業創始者、矢野 七三郎。タオル製造業中興の籠 常三郎。今治ガス中興の滝 勇。廻漕業、飯忠太郎(バストガバナー 飯 忠悟氏祖父)皆クリスチャンであった。

このような背景があったので、ロータリーも受け入れやすかったと思う。

(ロータリー情報・クラブ研修委員 深見 邦芳)

## 12月中の出席報告

例会日	区分	会員数	出席会員数	欠席会員数	当日出席率	メークアップ数	前回訂正出席率	ビジター数
1日		74(65)	54	20	77.14%	10	88.89%	2
8日		74(65)	55	19	76.39%	8	86.30%	0
15日		74(65)	48	26	67.61%	6	75.00%	0
(クリスマス忘年家族例会) 22日		73(64)	40	33	60.61%	11	72.86%	0
平均		73.8(64.8)	49.3	24.5	70.44%	8.75	80.76%	0.5

ご意見・ご要望があればお寄せください。

ホームページ URL <http://www.matsuyama-rotary.jp/>